

令和5年度 自己評価・学校関係者評価

1 教育目標 たくましく やさしい子

2 本年度の重点目標 『自分で考えて行動する子』

0歳児…保育者との信頼関係を築き、安心して過ごす

1歳児…周囲の環境への興味・関心を広げる

2歳児…保育者や友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ

満3歳児…喜んで登園し、好きな遊びを楽しむ

年少…喜んで登園し、保育者や友だちと楽しく遊ぶ

年中…遊びや活動を友だちと一緒に進める楽しさを味わう

年長…自分で考えたり、友だちと力を合わせて意欲的に園生活を送る

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価点 A 十分に成果があった、B 成果があった、C 少し成果があった、D 成果がなかった

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員	
	評価点	こども園の取り組みと改善策	評価点	評価・意見
指導計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症も5類に移行し、「日常」が戻ってきている。子どもたちのより良い成長を促すような経験ができるように計画してきた。 ・園児一人ひとりが、主体的な生活を展開できるように年度の切り替え時期に見直しを行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい日常にそくした指導計画がなされていると思います。目指す園の在り方と状況に応じた柔軟な対応の間で苦勞されていると思いますが引き続きお願いしたい。

<p style="text-align: center;">保育内容</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権を尊重した関わりをしていけるように、定期的に「人権擁護のためのセルフチェックリスト」(全日保育士会)などを今後も活用していきたい。 ・子どもたちが、興味関心をもって主体的に取り組んでいける保育内容をこれからも考えていきたい。 ・月に1回乳児部会議を開き、クラスの現状を報告したり、職員それぞれが共通の思いで保育に取り組めるように話し合いをしている。 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった活動も多く、子どもらしい豊かな保育が実践されている。
<p style="text-align: center;">保育環境</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの刺激にならないように、クラス内の環境を構成している。 ・子どもたちの動線や、興味関心を考えた環境構成を、今後も考えていきたい。 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境、設備ともに素晴らしい。
<p style="text-align: center;">保育記録の作成</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、日誌を記入することで、日々の保育の振り返りを行い、その反省を翌日の保育へと繋げている。 ・乳児部は「個別の指導計画」を毎月、幼児部は「個別の記録」を学期ごとに書き、一人ひとりの成長や課題を確認している。 	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共有が重要であるが、先生方の負担がなるべく少ないように工夫をお願いしたい。

<p>情緒の安定</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに寄り添い、どの子ども「こども園楽しい!」「早く行きたいな〜」と思える園生活が、送っていけるような配慮をこれからも続けていきたい。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけでなくまわりにいるすべての大人にもつながっているの、子どもにも大人にも楽しい園生活をお願いしたい。
<p>健康管理と安全管理</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、担任が視診を行い、登降園システムに入力されている体温の確認をしている。 ・感染症が流行している時は、園医と相談し学級閉鎖等の措置を取った。 ・登降園システムを利用し、出席確認をしているが、担任だけでなく何重ものチェックをし、登園していない園児には連絡を必ず取るようにしている。 ・「園外活動記録」の見直しを行い、園外での安全管理にも努めている。 ・ヒヤリハット事案は記録をとり、職員で共有し再発防止に努めている。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々細かく気を配って頂いていると感じる。 <p>健康管理・安全管理ともに可能な範囲で保護者と共有して頂きたい。</p>
<p>保護者への対応</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔で対応し、機会を捉えてこども園での様子を伝えるように心掛けている。 ・保護者からの意見等は、主幹や園長に報告し、担任だけの問題ではなく園全体として対応を検討するようにしている。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の中で先生とお話できる機会を増やしてほしい。

保育者として	B	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚と保育について話し合いをする場を設けたり、研修等に目的意識を持って参加し自己研鑽に努めていきたい。 ・言動等、常に子どものモデルとなるように心掛ける。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・直接、間接問わず時間的・心理的余裕を持てるように努めて頂きたい。
特別な支援を必要とする子への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援コーディネーター」を中心に、園内で話し合いを行い、他機関との繋がりを大切にしながらその子にとって最善な方策を模索している。 保護者への丁寧な対応にも、引き続き努めていきたい。 ・各種研修会に参加し、対応等について勉強している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き他機関との連携を取って進めて頂きたい。
保護者アンケート	A	<ul style="list-style-type: none"> ・メールで、提出を促したところ良い回収率となった。 回収率 92% ・提出していただいたアンケートは、職員で回覧し自分たちの保育を反省していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・集計の負担を考え、一部メールを利用してもいいのではないか。

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育について	<p>今年度、講師の先生をお招きして、園内研修を行い、保育を見直すきっかけをいただいた。子どもたちが、主体的に活動するための保育者のかかわり、環境構成などの研修に出掛けたり、園内研修を行っていきたい。</p>

行事の見直し	コロナ禍いろいろな行事の見直しを行ってきた。行事をコロナ前に戻すのではなく、子どもを真ん中に捉えた行事のあり方を考えて、実践していきたい。
--------	---

令和 6年 2月 29日

学校法人葉梨学園 葉梨こども園
園長 篠宮 けい子
学校法人葉梨学園 葉梨こども園
学校関係者評価委員
山田 美穂子